

# 会越・北岳 山スキー

T野

メンバー：T野・I崎・H口y・Y科・A原・T山

2024年4月6日



北岳といっても南アの日本第二の高峰、北岳ではない。会越の名峰、浅草岳の南に1472mの小さなピークがある。これが会越の北岳である。「浅草岳の南にあるのになぜ北岳？」という疑問が残るが、地図を確認すると鬼ガ面山の南に南岳という小ピークがあるので、どうやら鬼ガ面山から見てこのような名前が付いたように思える。

そんな北岳だが、隣接する浅草岳や鬼ガ面山などの個性的なピークと比べていくぶん地味な印象は否めない。しかし、この山は夏道がなく、雪のある時期にしか踏むことのできないピークで、僕にとって、それは非常にポイントが高く、以前から気になっていたのだ。さらに最近、なぜかこの辺りの山域は訪れておらず、直近で訪れたのが2016年。すでに8年も経っている。さらに、今年ほどこの山も雪不足で、楽しめる山はかなり限られている中で、この辺りの山域は、まだ何とか雪が繋がっているようである。であれば久しぶりに訪れてみようか・・・ということになり、せっかくのチャンスなのでこの機会に未踏の北岳をぜひ登ってみようと思いつ

した。

■写真上 浅草山荘を出発。最初から雪は繋がっていた。

■写真下 下部の尾根は痩せていて急で登りにくい。途中から北側（左側）の斜面にルートを求めた。

前夜、西武池袋線の練馬駅を出発。関越道を順調に走り、途中、適所で仮眠。登山口の浅草山荘には6:20に到着、準備して7:00に出発。ムジナ沢左岸尾根からアプローチする。



下部は痩せ尾根で雪付きも悪く、傾斜も急で登りにくいですが、尾根の北側の斜面を巻きながらシール登高で登って行けた。やがて、傾斜が落ちつき、相変わらずの痩せ尾根ながら、いづらか登りやすくなる。細かいアップダウンもあるが、できるだけ無駄のないように、小さなポコは上手く巻きながら順調に登っていく。高度を上げるにつれ、背後には守門岳～黒姫の大きな山塊が競り上がり、その残雪豊富な山容が青空に映える。さらに、一筋縄では登れない「新潟



の秘峰群！！」粟ヶ岳や矢筈岳を中心とした川内山塊も顔を出す。また、進行方向右手に目を転じれば、標高は低いが険しい山容を誇る毛猛連山の奥に越後駒・中ノ岳・八海山の越後三山が彫の深い魅力的な山容が姿を現わし徐々に景色が開けてくる。

上部に行くにつれ、尾根も広くなり、1150m付近より上は快適に滑れそうな感じになってくる。体力に余裕があれば、ムジナ沢に向け1本滑ったらきっと気持ちが良いだろう。標高1200mを越えると、もうどこでも歩け、好きなところを、ただ上を目指して登ればよい。



■写真上 背後には守門岳が大きい！！

■写真中 ようやく前方に目標の山、北岳が顔を出す。

■写真下 荒々しい毛猛連山の奥には越後三山が・・・！！

11:20 標識もない不遇を絵にかいたような北岳山頂に登頂。すぐ近くにある鬼ガ面山が、こちらから見ると東側の崖が見えず、西側の面ツルで

滑ったら快適そうな斜面が真正面に見える。浅草岳から望む印象とはだいぶ違い、いかつい名





前とは対照的なおだやかな雰囲気だ。一方、全体的には穏やかな山容の浅草岳は、こちらから見ると、なかなか男性的な風貌を誇っている。今まで見えなかった田子倉湖方面には、端正な未丈岳や南会津の穏やかだが奥深い山々、さらに奥には猫の耳のような尾瀬・燧岳も確認できる。

浅草岳の稜線には大勢の登山者が行き来しているのが望見でき、今日は盛況なようだ。一方、こちらは確認できたのは3パーティーほどで静かなものである。ただ、この静けさはなかなか好印象だ。未踏のピークだったので登れたことで充分満足、気温も高く風もない山頂はのんびり寛ぐことができた。

さて、お楽しみみの滑降だ。ムジナ沢の源頭が「おいでおいで」しているし、その気になって辺りを見渡すと、登ってきた尾根と平行に落ちる村杉沢源頭もなかなか気持ち良さそうだ。

■写真上 山頂で喜びをジャンプで表現！！

■写真中 意外に穏やかな山容の鬼ガ面山。

■写真下 一方、浅草岳は意外に男性的な山容だ。

ただ、我々は初見で勝手がわからなかったのと、余計な登り返しを嫌って今回はおとなしく往路を戻ることにする。雪はグサグサだが、上部の斜面は広くて快適、あっという間に山頂が遠ざかる。山頂で出会った三条のパーティーが村杉沢源頭を気持ちよさそうに滑っているのが確認できる。さすが地元、良い斜面を知っている。次回があるならあそ



こだなと密かに思う。

尾根は徐々に細くなり、側面を上手く使いながら滑って行く。「快適にシュプールを描く！！」という感じではないが、スキーの機動力を充分活用できるルートである。下部の標高850m付近からは尾根の雪付きが悪く傾斜も急なので、北側の斜面に入るが、ここは雪質もまずまずで傾斜もいい感じ、意外にもここが一番快適で楽しめた。最後は堰堤横から林道に出て終了！！

車を止めさせていただいたお礼に、というわけではないが、浅草山荘の温泉で汗を流し

(¥600)、以前に食べておいしかった須原にある食堂「よしみや」で食事。僕が頼んだカツどんと冷たい蕎麦のセットはボリュームも味も満足！！そして、問題の今日の宿、須原で物色して民宿「浦新」でいつものようにA原さんが交渉。素泊まり¥4400、それが北陸の復興割で半額になるという。最高ではないか！！宿の方も親切で部屋も広く快適！！いつもながらA原さんの宿を見る目は確かだ。夜はいつもの宴会、山に登って充実した後の宴会は楽しい！！



#### ■コースタイム

浅草山荘 (7:00) ~

(11:20) 北岳 (12:06) ~

(13:30) 浅草山荘

■写真上 北岳山頂にて。

■写真中 守門岳をバックに！！

■写真下 上部の滑降！！



